

適応機種(2007年10月現在当社にて動作確認済のもの)

TAHMAZO M1310-3s Ver.3.27以降 TAHMAZO M1916-3s Ver.4.28以降 TAHMAZO M2616-3s Ver.4.28以降
 TAHMAZO M4516-3s Ver.4.28以降 TAHMAZO M6112-3s Ver.4.29以降 TAHMAZO M8112-3s Ver.4.29以降
 TAHMAZO Mシリーズコントローラーの上記以外の機種(バージョンも含む)、TAHMAZO Pro.Cシリーズ全機種および他社製スピードコントローラーには使用できませんのでご注意ください。

A. 解説:ご使用前に必ずお読みください

- ジャンパーピンは設定したい項目の横に水平に差し込みます。縦(たて)にさしこんではいけません。
- 設定項目はA面とB面に分かれています。両面同時に設定出来ます。
- A面[mode]の[default](デフォルト)にピンを差し込むと、すべての項目は工場出荷状態に戻ります。工場出荷状態については、各ESCの取扱説明書をご覧ください。[default](デフォルト)以外の位置にピンを差し込んでも無効です。
- A面[mode]の[basic](ベーシック)にピンを差し込むと[battery](バッテリーの種類)項目だけ設定できます。それ以外の項目はデフォルトになり、ピンを挿しても無視されます。デフォルト状態については各ESCの取扱説明書をご覧ください。
- A面[mode]の[aircraft](エアクラフト)にピンを差し込むと、すべての項目の変更が出来ます。変更可能な項目の詳細については各ESCの説明書をご覧ください。
- 「エアクラフトモード」ではピンを挿さない部分の設定は変更されずに残りますが、下の8.項「ブレーキ」、9.項「BEC」、「ノイズマスク」、「モーター逆転」の項目は注意が必要です。(8、9.項及び右図参照)
- [cut off voltage](セルの最低電圧)はカードの電圧と各ESCの説明書とでは一部異なりますが、カードのピン位置通りの電圧になります。
- A面[brake](ブレーキ)の項目にピンを挿さない場合は「ブレーキ無し」となります。ブレーキを使用したい場合は設定のたびに必ず希望の強度の位置にピンを挿して下さい。
- B面の[BEC6V](BEC電圧6V)、[noise mask](ノイズマスク)、[mot.revers](モーター逆転)の項目はピンを挿した場合のみ設定されます。ピンを挿さないと、それぞれBEC電圧5V、ノイズマスク無し、モーター正転になりますので、指定したい場合は設定のたびに必ずピンを挿して下さい。
- 次のような場合は赤色LEDが点灯して設定エラーの警告をします。
 - ESCがプログラムカードを認識できない(適応機種、Ver.ですか?)
 - 誤った位置にピンを挿している(ピンと項目がズレいていませんか?)
 - 同じ項目にピンを2カ所挿している
 - 指定できない項目の位置にピンを挿している(5セルリポ対応のESCなのにリポ6セルの位置にピンを挿すなど)

B. 設定方法:

- ジャンパーピンを設定希望位置に差し込みます。
- ESCとモーターを接続します。(設定のみを行う場合はモーターを接続しなくてもかまいません)
- ESCのサーボコネクタを、極性を間違えないようにプログラムカードに接続します。GND=茶、+5V=赤、Data=橙
- ESCのスイッチがOFFになっている事を確認して動力用バッテリーをESCに接続します。
- ESCのスイッチをONにするとプログラムカードの緑色LEDが点滅します
- 5~10秒で点滅が止まればデータ設定は正常に行われました。
- 赤色LEDが点灯した場合は設定エラーです。一旦ESCのスイッチをOFFにしてから原因を調べ、設定しなおしてください。
- 緑色LEDが灯いていることを確認しESCのスイッチをOFFにしてください
- ESCのサーボコネクタをプログラムカードから外します。
- 設定のみの場合はESCから動力用バッテリーを外しておいてください。
- 設定後飛行する場合は、ESCのサーボコネクタを受信機のモーターコントロールチャンネルに接続してください。

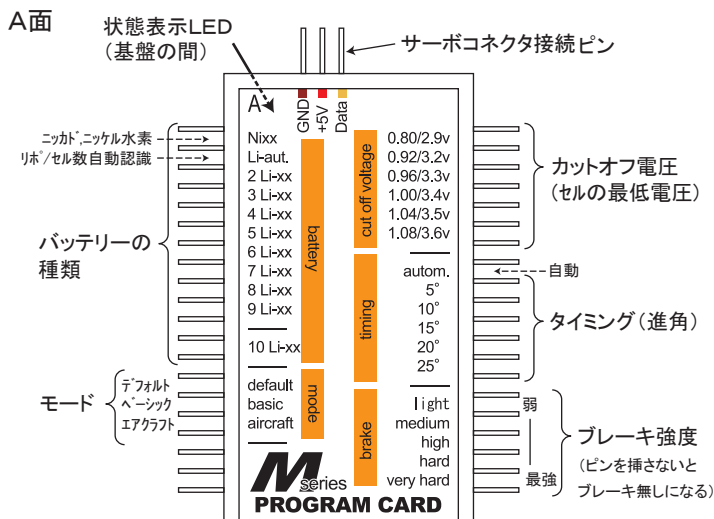
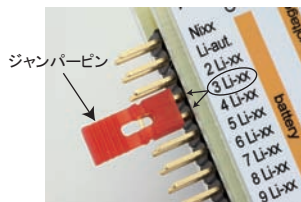
- 注意:故障や破損のおそれがあります
- 適応機種以外へ接続しない
 - サーボコネクタを逆接しない
 - 設定位置にはジャンパーピン以外のものを挿さない
 - 水などに濡らさない
 - ピンを曲げない
 - カードを曲げない
 - 重いものを上に置かない

保障及び免責事項について:
 初期不良のみ補償の対象となります。購入より7日以内に弊社までご連絡ください。メールまたはFAXでもOKです。本製品を使用したことによって生じた事故および不利益損害についての一切の責任は、使用者にあり、メーカー及び販売会社が責任を持つものではありません。

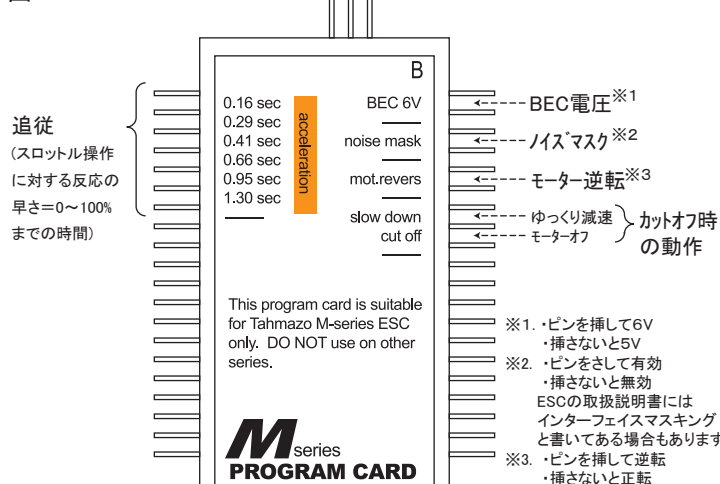
輸入発売元:株式会社OK模型
 〒577-0808 東大阪市横沼町3-3-11
 Tel:06-6725-2031 Fax:06-6725-2034
 mail@okmodel.co.jp

・ジャンパーピンの挿し方

右図の様に設定したい項目の文字の両サイドのピンに、付属のジャンパーピンを差し込みます。
 (例はリポ3セルに設定する場合)



B面



修理について:

本製品は、輸入品のため修理には時間を必要とします。2ヶ月から6ヶ月の時間をみてください。

水濡れや基盤の損傷がある場合は、修理が不可能です。修理が必要な場合は、直接弊社まで商品と故障の内容を詳しく書いたメモ、そして修理代金相当額の切手を同封して弊社までお送りください。

故障内容が詳しくない場合や修理代金、商品が同封されていない場合には、修理は行われません。修理価格は予告なく変更する場合があります。また、場合によっては修理をお受けできない場合があります。

修理代金 Mプログラムカード 2800円(税・送料込) (2007年10月現在)